

聖書考古学資料館主催
第19回 聖書考古学セミナー

「旧約聖書の『夢』解釈とその背景」

旧約聖書のなかには、夢を見る人たちと、その人たちが見た夢についての物語が数多くおさめられています。夢は、神が人間にメッセージを伝達するときに用いた手段として、聖書のなかでも重要な位置を占めるものです。夢のなかには、一見してその意味（すなわち神の意思）が私たちに伝わってくるものもありますが、他方で、象徴に満ちあふれているために、解釈されることによってでしか、私たちがその意味を知り得ないものがあります。解釈が必要とされる夢の物語は、外国の王宮に舞台が置かれる場合が多いのです。ヨセフはエジプトの宮廷で、ダニエルはバビロニアの王宮で、神の霊に満ちた賢者として、王たちが見た謎に満ちた夢を解き明かすことに成功しました。

このような夢の物語を通して、聖書はわたしたちにどのようなメッセージを伝えようとしているのでしょうか。なぜ、夢なのでしょう。解き明かしが必要な夢とそうでない夢とは、なにが違うのでしょうか。夢を解き明かすということは、どのような営みだったのでしょうか。そもそも、夢の解き明かしの物語はなにゆえに外国の王宮を舞台にしていることが多いのでしょうか。聖書の夢物語を深く味わってみましょう。

また、聖書の夢がどのように解き明かされたのかということについて助けとなるのが、メソポタミアの文書に記録された夢とその夢に対する解釈のありかたです。聖書の夢とその背景をなすメソポタミアの夢との比較を試みながら、わたしたちも、聖書のなかの夢という、神から人間へのメッセージの一つの手段について「解き明かして」いきたいと思えます。

講師：高井啓介氏（慶應義塾大学・明治学院大学非常勤講師）

東京大学文学部宗教学宗教史学科卒業。シュメール語およびアッカド語による書簡形式の祈りを題材として米国エール大学大学院中近東言語学科にて博士号。専攻はアッシリア学、北西セム語、旧約聖書学、宗教学。

第1回 2012年10月29日(月) 午後6時30分～8時

「聖書の『夢』物語：内容と類型」

第2回 2012年11月26日(月) 午後6時30分～8時

「メソポタミアの『夢』とその解釈：旧約聖書の背景として」

第3回 2012年12月10日(月) 午後6時30分～8時

「旧約聖書の『夢』と夢解釈の技法」

- ・会場：お茶の水クリスチャンセンター4F 416号（千代田区神田駿河台2の1 OCCビル）
- ・受講料：1回につき（資料代含む）
一般1500円・会員1000円
学生割引800円
- ・申込：当日会場にお越し下さい。
聖書考古学資料館（T M B A）
千代田区神田駿河台2の1 OCCビル 403号
TEL 03-3304-7788 FAX 03-3304-7730
<http://www.tmba-museum.jp>

